

番組「こころのきずな」から実現した、もう一つの「絆」

# こころの対談

Heart full Relations



## 岸本 耕三 × 大和 たきみ

株式会社ぶつだんのもり代表取締役社長。社団法人徳島青年会議所第47代理事長を歴任。現在、徳島商工会議所青年部副会長として様々な「まちおこし活動」を遂行。第二の故郷、徳島をこよなく愛する熱き青年社長。

エフエム徳島の朝の番組「スマイルモーニング」で、徳島の朝の顔としての人気を誇る。徳島出身の徳島を愛する生粋の阿波女。

## 日本人らしい「絆」を忘れてはいけぬ。

〈大和〉 本日はよろしくお願ひします。まず、今回、どうしてこのような番組をしようと思ったのですか？

〈岸本〉 東日本大震災直後、全国の仏壇の会と協力をして徳島を拠点にしてさまざまな物資を集め、秋田県の仏壇店を経由して被災地に物資を届けました。「いち早く動いてほしい」として本場に助けました」という声をたくさんいただいて、同じ日本の中で、同じ日本人として助け合うことの大切さを痛感しました。

しばらくして、たまたま某大学の災害研究チームの方の話を聞いたのですが、ある被災地の人は国内外からたくさんの方の物資

が届いて大変感謝しているけれど、何より心に響いたのが、隣村の人たちが夜通しかけて作った「おむすび」だったと。

普段あまり交流がなかった山を隔てた隣村の人が届けてくれた「おむすび」ほど有り難かったものはなかったと。その話を聞いた時に「これだ！」と直感しました。

〈大和〉 今回の番組のテーマとなった近所付き合いですね。

〈岸本〉 そうです。私が子どもの頃は近所に頑固おやじがいて、庭にボールを投げ込んで叱られ、あいさつする声が小さいと怒鳴られたものです。でもちゃんと思いやりのある心で接してくれたから、決して嫌な思い出はありません。

そんな古き良き時代のご近所付き合いを見直さなければ、この国はこの先良くならないと思います。

〈大和〉 私も先日、震災後初めて宮城県に行ったのですが、一年以上たっている今でも、こちらで想像しているほど復興は進んでいませんでした。

驚いたのは通り一本を挟んでこちらは津波で何も残っていないのに、こちらは殆ど被害がないという現状。その残酷な光景を見てきたので、社長のおっしゃるご近所付き合いの大切さがよく分かります。

〈岸本〉 先日、外国の方と話をした時に、日本が敗戦国でありながら大きく成長してきたのは、文化や経済が発展しただけ

ではない。近所の人や村組織を大切にしている習慣、親や先祖を敬う精神があるから、あの焼け野原から立ち上がったのだ。その日本人らしさが希薄になったから、最近の日本は危ういのだと。その通りですよ。

〈大和〉 私も若い人よりはご近所付き合いの大切さを知っていると思いましたが、今回の番組でのインタビューをさせていただく中で、まだまだ気がついていなかったことがたくさんありました。

どの方のお話しも心に残っているのですが、東日本大震災で亡

## 出会いから生まれる「ご縁」を大切にしていきたい。

〈大和〉 ところで番組のタイトルにもなっていますが、社長にとつてこころの「きずな」とは？

〈岸本〉 もくりんくんの歌に「出会えばみんな友だち」というフレーズがあるので、日頃から仕事でもプライベートでも、二人でも多くの人と出会いたいと考えています。

〈大和〉 なるほど！絆を結ぶ前には出会いが必要ということですね。私もこの番組のおかげで新しい出会いがたくさんありましたし、どの方も「人が好きなのだ」と感じました。

震災があり、社会情勢が不安な今だからこそ、人はお金では買えないものに助けを求めたり、価値観を見出そうとするんですね。

〈岸本〉 バブルの頃の、あの飽食の時代に忘れられていたもの

くなった弟さんのための「青いこいのぼりプロジェクト」の話はウルウルしてしまいました。社長は特に印象に残っている放送はありましたか？

〈岸本〉 どの放送も自分のためではなく誰かのために、地域のために地道な活動を続けている話で素晴らしいですね。第一回目の放送で津田中学校が防災甲子園で二年連続優勝したというの驚きましたし、石井小学校の「ほうれん草の歌」は、子どもたちの歌声に元気をもらいました。

が見直されているのでしょうか。

お金では買えない価値観とおっしゃいましたが、そんな意味からしてこんな混沌とした時代だからこそもっとお墓参りをしていただきたいですね。自分が壁にぶつかった時、道に迷った時、ご先祖様は必ずあなたを守ってくれます。たくさんの方の施主様とお話をしても、ご先祖を大切にしている方は守られているな〜とつくづく実感します。

〈大和〉 そうですね、私もお墓参りをするのがスツキリするようになっています。ご先祖様を大切にされる方は、きっと心の絆も大切にされるのでしょう。

最後に、今後の人生でどのようにその絆を活かしていきたいとお考えですか？



※この対談は、2012年6月7日にぶつだんのもり本店で実施いたしました。